

平成25年3月28日  
中国電力株式会社

## 平成25年度経営計画記者会見 社長あいさつ

本日は「平成25年度経営計画の概要」について発表させていただきます。  
詳細は後ほど担当常務からご説明しますが、最初に私から概要をお話しさせていただきます。

### <電力供給計画の概要>

まず、平成25年度の供給計画においては、販売電力量ならびに最大需要電力について、今後10年間の想定を記載して届出を行っています。

一方で、電源開発計画につきましては、現在、国において、原子力の新安全基準やエネルギー基本計画等の議論が行われていることから、24年度に引き続き、島根原子力発電所3号機の営業運転開始年月および上関原子力発電所1、2号機の着工年月・営業運転開始年月ともに「未定」として届け出ております。

供給計画で具体的な時期をお示しできる状況にはありませんが、島根3号機につきましては、設備的には完成しており、また、燃料装荷までに受検する国の使用前検査もすべて終了しております。運転開始にあたっては、安全性の確保が大前提であり、引き続き、新安全基準を先取りする形で取り組みを進め、また、新たな知見も取り入れながら、世界最高水準の安全性を不断に追求してまいりたいと考えています。

また、上関原子力発電所につきましては、皆さまご承知のとおり、埋立免許伸長申請に関して、1年程度を期限に補足説明を求められております。現在、準備工事を中断しており、すぐに工事を再開できる状況にはございませんが、当社として、その重要性にはいささかの変わりもなく、免許を更新していただけるよう、引き続き審査に適切に対応してまいりたいと考えています。

### <平成25年度効率化施策>

続きまして、平成25年度の経営効率化の取り組みについてご説明します。

島根原子力発電所の停止に伴う火力発電燃料費の大幅な増加により、大変厳しい収支状況にある中、当社におきましては、全社を挙げた効率化に取り組んでおり、平成24年度につきましては、約200億円の効率化を目標に掲げ、これを更に深掘りして達成できるものと見込んでいます。

しかしながら、平成25年度につきましては、原子力の再稼働時期についても未だ見通せない状況にある中、円安の影響により更に厳しい状況となることも考えられます。当社としては、これまでの効率化施策に加え、安全性や安定供給の確保に支障を来さないギリギリのレベルで、工事の中止・繰り延べや規模の縮小などにも踏み込むことにより、平成24年度の倍以上に相当する、560億円程度の、言わば緊急避難的なコスト削減も含めた最大限の効率化を図ることで、現行の料金水準を何とか維持できるよう、全社を挙げて取り組んでまいりたいと考えております。

### <電力需給>

最後に、今年の夏の電力需給については、全国的な需給状況も勘案する必要があり、現時点で具体的なことは申し上げられませんが、景気に回復の兆しが見られる中、生産活動等に影響を及ぼすことのないよう、電力の安定供給を確保していくことが責務であると考えております。

この夏に向け、需要が比較的少ない今の時期から、各プラントの計画的な点検・補修等に取り掛かり、電力の安定供給に万全を期して取り組んでいく所存です。

以 上